

広報
274 号

東京都製紙原料協同組合

発行所
東京都製紙原料協同組合
台東区台東 3-16-1
TEL (3831) 7980
発行人 近藤 勝
編集広報委員会



日本離れた風景もまたいい感じ。

城南支部 梶野泰一

〈 主 な 内 容 〉

時の視点		組合員の広場	
古紙の市況Ⅰ	直納部部長 赤染清康	2	納土社会保険労務士事務所の紹介
古紙の市況Ⅱ	直納部副部長 小林健二	2~3	特定社会保険労務士 納土祥滋 10~11
古紙の市況Ⅲ	直納部副部長 上田晴健	3~4	「今日、この頃」その⑦
捺染紙トラブルについて	広報部	4	元事務局長 三沢康男 11~12
静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会		5~7	新東京タワーの見える街
東資協との懇談会		7~8	(スカイツリー 30 景) その③
清風会ゴルフコンペ開催			専務理事 夏目 茂 12~14
	青年年部幹事長 廣田圭吾	8~9	支部スケジュール 14
支部便り			お知らせ 15
足立支部支部会	足立支部長 赤松源裕	9~10	「12月会議・催事予定」「古紙価格」「本社移転」「訃報」
山手支部研修会			会議概要 [9・10月] 15~23
	山手支部厚生部長 中谷浩康	10	編集後記 広報部副部長 脇 克美 23
			広 告 24

時の視点

古紙の市況 I



直納部部長

赤染 清康

現在の古紙市況を簡単に述べますと、産業古紙と裾物三品では、若干、状況が異なっています。また産業古紙も洋紙板紙向けと家庭紙向けでは状況が異なります。それは製品市況の違いと古紙原料の発生状況の違いによります。

少し分かりにくくなりましたが、全ての古紙は2010年は発生が悪い中、国内需要は秋口より洋紙板紙は良くて横バイか減退、家庭紙は発生が極端に悪いだけに非常にタイト感があります。

日本経済が回復して行かない限り、この傾向は続きますが、アジアの途上国のGDP伸び率が二ケタ近い為、国内古紙の余剰分の輸出は概ね順調に推移して行くでしょう。

裾物三品については、余剰分を輸出し、国内については需要減退ながらも何とかバランスが取れて行くものとおもわれます。しかし、家庭紙については製品はリサイクルされません。家庭紙原料の発生源は、需要が減少している洋紙のユーザーすなわち、印刷・製本・出版業界です。込頁、オフィス古紙類も経済が芳しくない中、発生が減少しています。家庭紙の製品市況は、景気が悪くても、数量は驚く程は落ちていません。

物流の段ボール、企業のオフィス用紙、本・雑誌・

新聞講読数、広告のチラシ等比べてトイレトロール、ティッシュの生活必需品は買い控えがそれ程起きていません。これによって家庭紙原料の需要ギャップが生じ、古紙の内外価格差も手伝ってタイト感が増し、今後の冬場の需要期に原料手当が困難になって行くと言う現象です。

家庭紙原料は、もちろん古紙問屋業界としては十二分に供給を果たして行きたいのですが、構造的要因でしょうか。最近では、印刷・製本・出版業界に今後かなりの影響を及ぼすであろう電子書籍端末の国内での普及と云う問題があります。家庭紙原料に対する抜本的対策が組合でも強く求められます。直納部としてどう対処して行くか、変化の対応に忙しい局面となります。

古紙の市況 II



直納部副部長

小林 健二

現在の日本経済は為替の円高が進み一部の経済評論家は1ドル80円を切るのではないかと発言しております。又、デフレ傾向が続き各企業の業績が悪化し、立て直しの苦慮している現況です。

この様な不況の影響は製紙業界も例外ではなく印刷、製本業界の不振及び各会社のペーパーレス化の傾向により洋紙メーカーの出荷数量が減少傾向になり、大変苦戦し減産強化を図っているのが現状です。

大手洋紙メーカーは国内の不振を輸出に転換していますが、円高の影響で輸出量に減少傾向が

見受けられます。しかしながら製品輸出を実施されずと国内の古紙発生は期待出来ず、海外での古紙発生となってしまいます。

この様な状況で国内市況を考えますと、古紙の発生増加に期待がもてる市況にはならず、逆にどの程度の発生減になるのか先の読めない市況になってしまいます。

家庭紙の各メーカーは産業古紙及びオフィス系古紙が主力古紙で、パルプの代替え使用は困難であります。例年、9月以降、製品需要は旺盛になり各メーカー共、操業度を上げますが、今年は古紙発生減に依り古紙の手当に苦慮している状況です。特に産業古紙の11～12月発生増加が期待できるのかどうか、もし現状のまま推移すると考えますと、タイト感が簡単に解消する市況にはなりにくいと思われます。又、製品価格の値上げ交渉は現状苦戦を強いられております。

全般的に製品価格の下げ基調の中、古紙の値上げで中小の家庭紙メーカーは厳しい状況となっておりますが、我々古紙を生業している立場からみますと、発生減の影響で扱い数量の減少と仕入価格の高騰で、非常に厳しい環境下で頑張っているのが現状です。

東京協組直納部としましては、家庭紙メーカーの動向を注視し今後の古紙発生状況をよく見極め集荷直納部組合員の皆様と意見交換し、ご意見を伺い対処していく事が益々重要になると思われます。

古紙の市況 Ⅲ



直納部副部長

上田 晴健

前回、「時の視点」にて、市況感を含めまして記事を書かせていただきました。回収減が一番の問題点という趣旨のことを書かせていただいた記憶があります。

昨今、どの業界も良い話は聞いていない中で我々業界はまだ商売が出来る業界です。しかし、リーマンショック以降、我々の業界にも不況という波が押し寄せているのは事実でございます。仕入環境におきましては、我々の業界は売上というよりは適正な口銭を如何に頂くのかという意味合いが強い業界です。以前は不況に強いといわれている業界でした。この2～3年で我々の業界にも構造的な変革が起きてまいりました。拡大傾向にあったこの業界が現在縮小傾向の中で、既存業者、新規参入の業者が入り乱れた中での過当競争がなされております。

私が常々思っていることは、集荷業界の競争力を如何に発揮していただくのかということです。業界では、直納業者の競争力が業界の秩序を乱しているかのような話がささやかれておりますが、疑問が残る話ではないのかと。直納業者だけの競争力においては疑問が残ります。「集荷—直納」のラインで「集直一体」でのリサイクルの構築こそがお客様のご要望を具現化する方策だと思われます。我々の業界が縮小する中で競争は避けられそうにありません。一時的に問屋が高値でお客様のご用命を頂くというようなケースがございます

が、本当の意味においては意味がないような気がしています。「集荷一直納」がお互いの競争力を発揮し、それをお客様にご納得いただくシステムを構築することこそが最終的にお客様に対してトータルのメリットを出せるように思われます。

一方、販売の面においては、一時のやや余剰の状況から集荷量減によるタイト感が出ております。おかげさまで、一時の安値水域は脱した感がございます（できればもう少し安定的な再生産可能な価格帯を求めたい部分はありますが・・・）。しかし、製紙メーカーサイドは厳しい競争にさらされ、まだまだ厳しい経営環境が続いております。一方的に我々の事情をお願いするような環境ではありません。今こそ我々業界の良い部分、「集直一体」をさらに進め「集直メーカー一体」で各々が知恵を出していきたいものです。

捺染紙トラブルについて

広報部

いささか旧聞に属するが、今年8月9日に発売された集英社の週刊少年ジャンプ合併号に、捺染紙を使用したアイロン・プリントが付録として付けられていた。それを受けて、製紙メーカーや古紙問屋の現場では、選別除去の対応に追われた。

残本古紙は選別が比較的容易であるが、回収古紙には混入する可能性が高い。そこで古紙回収に携わっている我々組合員は、捺染紙がどんな物であり、どんな問題を引き起こすか知っておく必要があるので、ここに簡単に説明しておく事にした。

捺染紙は昇華転写紙とも言い、昇華（固体が液体にならずに気化する現象）型の分散顔料を含有したインクで印刷された転写紙の事を言う。

問題点①

昇華性インクの性状は、色により大きく異なるためインクを洗浄・漂白しても染料を取り除く事が出来ない。

問題点②

板紙（通常7～8層抄き）の中間層の原料に用いたとしても、印刷時に昇華性の染料が溶剤に反応し、または経時変化（1～数ヶ月後）で表面に色付斑点が浮き出て来る。板紙が加工され完成品となってから問題が発生する事例が多いので、さらに被害が大きくなる。

発生場所①

昇華転写紙を使用してアパレル・のぼり等に捺染（転写）する工場・事業所。

発生場所②

昇華転写紙を製作する印刷関連事業所・工場、昇華転写紙を雑誌に使用して製本・出版する工場・事業所、及びその周辺。

発生場所③

家庭からは雑誌の付録に付いているアイロン・プリント、裁縫用の型紙。

見分け方

字や絵が逆になっているのが特徴で、またアセトンの溶液を塗ると色付き斑点が浮き出る。

その他の禁忌品

発泡インク（感熱性発泡紙）は点字加工紙、名刺等の立体コピー用紙に使用され、加熱されると発泡する事から、製紙過程でドライヤー乾燥時の過熱で、表面に沢山の小さな凹凸を生じる。

静岡県紙業協会家庭紙部会 との懇談会

[平成22年10月19日(火)午後5時00分～]

於) 東京 上野・精養軒

出席者：静岡県紙業協会家庭紙部会 17名

(内、家庭紙メーカー15名)

静岡県製紙原料商業組合 9名

関東製紙原料直納商工組合(三紙会) 3名

東京都製紙原料協同組合 28名

三団体代表挨拶

近藤理事長 [東京都製紙原料協同組合]

東京開催は2回目となりますが、地元という事で当組合としては問屋、集荷とも大勢が参加できました。古紙の発生は産業古紙を中心に減少、大変厳しい状況となっております。本日は家庭紙の製品状況、古紙の発生状況等の情報交換をさせていただき有意義な会議としたいと思います。

イデシギョー(株)井出会長

[静岡県紙業協会家庭紙部会]

家庭紙だけで年間120万～130万トンの古紙を使用している。印刷、製本業界の景気が悪く8月くらいから9月、10月と古紙の発生が減少していると聞いている。このままで行くと家庭紙メーカーは操短をしなければならない状況にある。今後、古紙原料がどのようになるのかを本日は聞いてみたいと思います。

佐野理事長 [静岡県製紙原料商業組合]

国内の景気が悪い中、古紙原料の発生が減少している。本日は家庭紙メーカーとの情報交換を通して今後の対策について考えていきたい。

家庭紙メーカーからの現状と意見

[静岡県紙業協会家庭紙部会]

トイレットペーパー等の製品の価格修正を期待していたが、逆に製品価格が下がってしまった。家庭紙メーカーの原料在庫が減少してきているので、この機会に古紙原料の現状について情報を教えてほしい。

古紙全般の市況について

赤染直納部長 [東京都製紙原料協同組合]

裾物3品の発生が悪い。発生が悪い上にヤード数が増えている。古紙が少ないため仕入の過当競争が起きている。行政回収の入札では高値での落札が出ており仕入価格が高騰している。洋紙メーカーは9月以降、生産を93～95%に落とし減産を強化している。製品の出荷が悪く苦戦している。板紙メーカーは、夏場に飲料水向けの特需があり動きが良かったが、秋口に入り前年に対し横ばいとなっている。エコポイント終了の影響も出てきており下期は厳しい落ち込みが予想される。裾物3品は、発生と生産が落ち込んで厳しい状況である。

集荷関係より

宮崎集荷部長・近藤副部長

[東京都製紙原料協同組合]

集荷の現状は極端に発生が悪く厳しい状況にある。小さな印刷会社では仕事が減少しており倒産するところが出ている。例年、3月と10月は繁忙期で発生も多い時期である。しかし、今年の3月の発生は、多少、あったが10月は減少している。パンフレット関係も減少している。製本、印刷業界は、今後さらに廃業する会社が増えてくるのではないかとと思われる。

家庭紙原料について

小林色上委員長 [東京都製紙原料協同組合]

産業古紙の発生が減少している。製本、印刷業界での印刷部数の減少も影響しており、今後、発生増を期待するのは難しいと思われる。東京協組で集計している上物古紙の今年の在庫を見ても特に7月～9月の在庫が激減している。メーカーの製品が売れないため、古紙の発生が低調に推移している。発生減の中、家庭紙に廻る分が少なくなってきたのが現状である。在庫はランニングストック状態で非常にタイト感が強い。家庭紙メーカーへの古紙の納入は11月、12月も厳しくなっていくと思われる。今後、極力、家庭紙メーカーへの納入について努力していきたいと思っている。



静岡の状況について

[静岡県製紙原料商業組合]

発生が減少している。製本、印刷関係は仕事が減っており古紙の在庫も減少している。一方で古紙業者のヤード数が増えており過当競争がおきている。古紙原料の価格が上がれば家庭紙メーカーへの納入が出来るわけではない。電子書籍などのマイナス要因もあり、今後、景気の回復と紙の使用増を望むしかないのではないか。

質疑応答

G：原料メーカー **M：家庭紙メーカー**

M-Q： 仕入れに苦勞しているが、古紙原料を輸出する場合の国内との品質について違いがあるのか。

G-A： ミックスに関しては日本で余剰が出た分を輸出に回している。輸出する場合は会社名を入れ日本のメーカーに納入するのと同じ様に出している。ミックスはそんなに選別費がかからないが各品名に合わせて古紙原料を作っていく。上物でも家庭紙メーカーに納入している物と同じである。オフィスから出る機密書類は、そのまま輸出には出さない。

M-Q： 家庭紙メーカーは質問が出せないほどの厳しい状況である。消費が悪く製品在庫が増加しておりメーカーは製品値上げをする事が出来ない。現在、家庭紙メーカーは製品在庫の減少を待つしかない状況。

G-A： 国内の大手洋紙メーカーが、今後、動き出すかどうかは鍵である。順調に動き出せば、さらに家庭紙メーカーへ廻る古紙原料は限られてくるのではないかとと思われる。

懇親会

懇談会終了後、別室において懇親会が行われました。



司会は、東京協組の青年部、工藤充彦が担当しました。三団体の会長、理事長の挨拶の後、全原連の大久保需給委員長による乾杯のご発声で懇親会がスタートしました。今回は特別に関東商組の三紙会から斎藤大介会長を含む三名が参加され合計50名の賑やかな懇親会となりました。

1時間半後に東京協組の松井副理事長による中締めで閉会となりました。

東資協との懇談会

[平成22年9月14日(火)]

於) 東資協会館会議室 pm4:30

参加者: 東京都資源回収事業協同組合 16名

東京都製紙原料協同組合 18名

司 会: 片岡専務理事(東資協)

代表挨拶

吉川理事長(東資協)

不景気の影響で紙の発生が少ないという問題がおきています。上部団体である日資連においても持ち去り問題について、今年最後の年にしようと運動をすすめています。他にもいくつかの問題がありますので、今日の情報交換を通して、お互いの団体に役に立つような会にしてけたらと思っています。

近藤理事長(東京協組)

昨年の64回国連総会において、2012年を国際協同組合年にするという事が決まりました。これは協同組合の世界組織が世界の食糧対策や金融危機の取組みに期待し開かれる事を目指したものの。世界の協同組合の役職員が協同組合の意義と役割について、国内外の協同組合の仲間と学び、実践し、交流し広く地域社会の人達へ伝え、協同組合の仲間と理解者を増やしていく絶好の機会であ

り、国内の協同組合は連携して積極的な取り組みを展開していくというものである。日本の各都道府県の組合が現在、取り組んでいるのは協同組合間の交流の促進、協同組合に関する学習、研修活動の促進、協同組合に関する広報活動の促進。まさに我々が今日行おうとしている会合そのものである。本日の会合は、組合員同士の会合と共に組合同士の会合という、まさに協同組合のこれからの方向に適応している素晴らしい取り組みだと思えます。最後まで活発な情報交換をお願い致します。

1. 古紙全般に関する現況

赤染直納部長(東京協組)

一昨年10月末のリーマンショック後、輸出価格を始め裾物3品の価格が1週間ほどで7分の1ほどに落ちてしまった。やっと昨年春くらいから値がつく状況になった。数量面では洋紙の落ち込みが激しく段ボールの注文量も減少した。今年の夏に入り、猛暑の影響で飲料水関係の段ボールの動きが大きく板紙メーカーも好調となった。反面、洋紙メーカーは段ボールのみ好調で、他は小康状態である。輸出は商社によりバラつきはあるが、徐々に回復に向かいつつある。発生減の影響で、古紙の間屋の間や集荷業者の間で過当競争が起こっているようである。

2. 産業古紙の現況

上田直納副部長(東京協組)

リーマンショック以来、紙の生産が10%減少している。大手製紙メーカーは5%の受注減になっている。発生は悪く供給減によるタイト感がある。秋口に入り、若干、価格面での戻りがあるのではないかと予想している。

3. 集荷の状況について

宮崎集荷部長（東京協組）

出版業界から製本、印刷業者への発注が大きく減少している。仕事が廻ってこないため製本業者の縮小があるのではないかと不安視している。

4. 資源回収業界の動向（東資協）

東京都資源回収事業協同組合では、今年度は、原点に帰り、行政回収、集団回収に取り組んでいく方針である。最近の状況では、発生は激減しており事業所系、オフィス系の古紙は回収量が少なく酷い状況である。玉が少ないので業者間での過当競争が激しくなっている。又、ゴミも減少している。建築関係の需要が少なく残材が減っている。又、金属類やプラスチック類も減少している。家庭から出る物もアパッチによる抜き取りにより問題となっている。



5. その他

(1) 東資協のかかえている現在の問題点

景気の影響で発生が少なく雑誌が出て来なくなった。

メインとなる行政回収、集団回収は発生が少ないが、きちんと守っていかなくてはいけない。

書籍の電子化による影響を考えていかなくてはならない。

(2) 東京協組より捺染紙について

8月に発売された少年ジャンプ 36・37号合併号

のとじ込み付録に昇華性転写紙（捺染紙）が使われている事の報告をした。会議では、実際の洋紙メーカーの被害例をあげ、実物見本を配布してリサイクルとせずゴミとして処分するよう説明をした。

清風会ゴルフコンペ開催

青年年部幹事長 廣田 圭吾

あっという間の半年。やって来ました秋の清風会ゴルフコンペ。春のコンペでブービー賞となり、幹事役となった自分が選んだコースは穴戸ヒルズカントリークラブ。男子プロツアーも開催される超本格派コース。相変わらず100を切れない腕前でも名門コースは楽しみ。

当日は予報もよく、三郷から1時間足らずの近場。余裕のスタートとなるはずが、高速表示板に岩間ICで事故通行止めの表示。先行していた参加者からは「全然動かないよ」との連絡が。ゴルフ場も事故情報を把握していたので、スタート時間については臨機応変に対応しますとの話になったものの、苦い思い出が蘇りました。そう、2年前の清風会。起きたら集合時間20分前でした。仮病作戦も頭をよぎったものの、愛車を飛ばしてゴルフ場へ。最終組だったことも幸いして、3人が打ち終わった時にスタートティに到着。その後は、ナイスショットの度に諸先輩方に「やっぱりよく寝てきたやつは違うよな」と1日暖かい御指導御鞭撻を戴きました。あの二の舞だけは避けたい。

少しだけ下品な運転をしつつなんとか渋滞をクリア。スタート10分まえにはマスター室前に到着。参加者の皆さんも慌ただしくスタートです。

ウォームアップを遅刻ピンチの冷や汗で済まして、ドライバーを握りしめ、いざ出陣。工藤房太郎社長、庄司社長、高山社長の大先輩に囲まれて

のプレーです。自分のハンデは29。105で廻れば…の皮算用は3ホール目にはいつも通りに崩れ、3人に迷惑をかけないようにするのが目標に（涙）

ドライバーはコンパクトなスイングを心掛けた為か、「ふぁあ〜」でキャディさんの声を枯らせることも無くなったものの、アイアンがメタメタ。原理から言えばボールを叩く訳ですが、どうしてもすくい上げたくなる。当然、トップ気味になり、絶好のセカンド位置から左右の林に消えていく。或いはザックリとダフって飛距離が出ない。飛距離が出ないからまた力が入って…の悪循環。そこで、後半は工藤社長のしなやかなアイアンショットをジッと観察。真っすぐ飛ばすためにコンパクトなスイングに留意。庄司社長のショートアイアンもジッと観察。しっかりボールを上から叩いて安定したアプローチに留意。高山社長の丁寧な攻め方もジッと観察。無理して飛ばさず、次の1打まで考えてクラブセレクト。すると、前半66から後半は54に改善。ゴルフは頭を使うスポーツだと痛感。ついでに大波賞ゲット（笑）



優勝は坂内さん。久々の若手の勝利です。準優勝は初参加のコスモリサイクル小森社長。次回はハンデが一気にカットですよ〜（笑）そして、前半50を叩いて泣きが入っていた近藤理事長が後半は39でまとめて89で3位。そしてベスグロは同じ89で廻った増田会長が年齢差で獲得しました。

次回幹事は優勝者の坂内さんとブービー賞の坂田（智）さんです。また坂田（秀）さんの取り計

らいでゴルフ場から果物のお土産も戴きました。ありがとうございました。

成績は次の通りです。

優勝 坂内大介（有）宏栄紙業
準優勝 小森 修（株）コスモリサイクルセンター
3位 近藤 勝 美濃紙業（株）
ベスグロ賞 増田唯之（株）増田商店
ブービー賞 坂田 智（有）坂田亮作商店

支 部 便 り

足立支部支部会

足立支部長 赤松 源裕

10月16日（土）足立支部の支部会が、西新井大師の老舗「武蔵屋」で相変わらずの少人数で開催されました。



支部会の始まる前に久しぶりに大師様へ行きましたが、参拝客が少ないように感じました。景気が悪くなるとお願い事で参拝客が増えると思いましたが、更に景気が落ち込んだのか、さっぱりの参拝客でした。景気の方も、早く良くなるようにと他人頼みではなく、いよいよ自ら消費をしなければならない時が来たのかも知れません。

支部会では、少人数のわりに大変盛り上がり、「武蔵屋」の社長も途中参加し、懐かしいあのレー

ザーディスクのカラオケで、昔を偲び感涙した？
 幸いです。

帰りは「武蔵屋」名物うな重と草だんごをお土産にして、午前様でありました。(奥方プンプン)

山手支部研修会

山手支部厚生部長 **中谷 浩康**

去る9月4日(土)～5日(日)に1泊2日で熱海「新かどや」にて、山手支部研修会を開催しました。今回出席者は全部で7名でした。東京駅に13時20分に集合して、13時33分発快速アクティに乗車しました。約1時間30分で熱海に着き、タクシーで「新かどや」に行きました。宴会の時間まで2時間余りありましたので、ゆっくり温泉に浸かり、日頃の疲れを癒しました。午後6時に協支部長の挨拶により開宴しました。コンパニオンとの会話、カラオケと盛り上がりました。翌日は午前11時にチェックアウトして、熱海で昼食をとり、新幹線で帰途につきました。組合員の親睦がより一層深まった有意義な2日間でした。次回はぜひ、もっと多くの組合員に参加してもらいたいです。

組合員の広場

納土社会保険労務士事務所の紹介



特定社会保険労務士

納土 祥滋

納土社会保険労務士事務所は、毎年組合様の総合名簿に協賛広告を掲載させていただいております。この度このような機会を頂戴いたしましたので、改めて組合様と当事務所の関係及び組合員の会社様にどのようにお役にたてるか、また最近、年金問題で脚光を浴びてきました社会保険労務士ですが、一体どんな仕事をしているのだろうかと思っっている方が多いと思いますので、主要な業務内容をご案内申し上げます。

1. 社会保険労務士はどんな仕事をしているのか

主要な業務内容は次の通りです。

- * 労災保険、雇用保険、健康保険、厚生年金保険等の加入・脱退及び給付の手続きを迅速・的確に行います
- * 労働基準法に基づく就業規則・賃金規程等を作成します
- * 各種助成金・給付金を活用した経費削減プランをご提案します
- * 人事労務管理のどんな問題に対してもご相談に応じます
- * どんな年金相談にも応じます
- * 新しい賃金制度・賞与制度・退職金制度を策定します
- * 個別労働関係紛争解決の手続代理をします

2. 東京都製紙原料協同組合様と当事務所との関係

東京都製紙原料協同組合様とは平成15年に先ず就業規則の作成をさせていただきました。

その後、平成17年に組合様と顧問契約を締結していただきました。

以来、組合及び組合員の会社様の労働保険・社会保険の諸手続きを手始めに、各種助成金や給付金の支給申請、経費削減プランの提案、就業規則の作成、人事労務管理の相談、年金相談等々に応じています。

3. 組合様に対してどんなお役にたてるか

私は開業以来12年になりますが、その間の世の中の動きは非常に激しく、最初にぶち当たったのが失業問題・雇用創出対策、次に高齢化、更に少子化問題と続き、最近では個別労働紛争問題となっています。

デフレが続く景気が良くない世の中ですのでどうしても労使の関係もギクシャクとなりがちです。残業代、過重労働、メンタルヘルス、育児・介護休業、解雇などを巡って様々な問題が発生しています。

問題を未然に防ぐためには、社員ともめごとを起ささない就業規則の作成をはじめ社内の規程をしっかりと整備しておくことが大切です。万一問題が発生した場合は監督署に聞くに聞けない案件の相談相手になりますと同時にその解決に全力で対処させていただきます。

また、各種助成金や給付金を上手く利用し国から貰いきりで返済不要のお金を受給しない手はありません。私はこれまで多くの会社様からのご依頼を受け種々の助成金・給付金を受給し経費削減プランを実行してきました。給付金を活用した60歳以上の社員の給与の決め方は最も得意とするところです。助成金・給付金の受給はお任せ下さい。

それと年金問題。年金は制度自体がものすごく難しく一般の人はほとんど理解できないのが現実です。しかし、老後のことを考えるとこれほど大切なものではありません。

会社及び社員・従業員の皆様のお気軽なご相談相手になります。

皆様の会社で私のお役にたてることがありましたら何時でもどんなことでも安心してお気軽に声をかけていただければ幸いです。どんな問題にも必ず皆様に喜んでいただけるよう対応いたします。

ご相談事がありましたら組合様を通じてでも直接私宛でも結構ですのでお申し付け下さい。

連絡先は次の通りです。

〒273-0048 船橋市丸山3-32-10

納土社会保険労務士事務所

特定社会保険労務士

納土祥滋 (のうど しょうじ)

Tel・Fax 047-429-3073

Emai snodo3@bronze.ocn.ne.jp

「今日、この頃」その⑦

元事務局長 三沢 康男

最近になって、地に落ちたものに、総理大臣の値打ちが一番であろうと思うのは、私だけではないだろう。一時頻りに総理が交代した時があったから、その頃から総理大臣と云っても大したことが無いと思われるようになったと云えよう。確かに戦後間もない頃の総理の存在感は凄かった。(吉田茂、池田勇人、佐藤栄作) 一国の総理大臣になるのが最高のステータスであった。それが今日この頃になってと云うかこの21年間で十五人もの交代があったのだ。なにをか云わん。

さて、もう一つ地に落ちたのがNHKの紅白歌合戦だろう。一時期は歌手にとって出場が最高の栄誉であり歌い手にとっても一流と位置づけられて名誉であった。又、リスナーも大晦日の家族団欒の唯一の楽しみであった。それが現在はなんだ。理由のわからない洋楽風で展開されているのもそうだが、なんと出場辞退者が出るほど地に落ちているではないか。聞く方も数多くのリスナーが裏番組の格闘技かナツメロの方が人気があると聞いている。よくわからないが視聴率の低下は確か

ようだ。

プロ野球も入団するにかつては、ドラフト一位であつたら感涙の極みであつた筈だ。ところが最近の入団拒否の状態が見られるのがなんとも不似合だ。ドラフト一位もたいしたことが無いと思わせる状況である。その他、一家のオヤジの権威も昔に比べて地に落ちている。逆に株があがったものは何だろう。思い出せないほど少ないのだろう。



ひとつ忘れていた。地に落ちたものに国技大相撲の横綱があげられる。古来、実力、品格のすべてが最高級が横綱であり、横綱が相撲人生を支えていたものだ。横綱と云えば、日本人横綱がどの位前に居たろうか。なかり前だ。花田兄弟か北の湖、貴乃花が思い出されるが…。それはそうと、なんで最近ハワイ出身力士が居ないのだろうか。かつての高見山、武蔵丸、曙の時代は幻か。ともあれ、モンゴル場所と云われて久しいが、早く日本力士の横綱が現れて欲しい。

プロ野球界も人気球団の凋落と同時に、かつての興隆が望めなくて、テレビ放映も少なくなっている現状である。WとKに、代表される東京六大学野球は、もうラジオ、テレビとも採り上げるのが少なく、かろうじて高校野球がNHKの大協力によって、春と夏が名物風物詩となっているだけである。それとて近年は公立高校の出現が少なく、野球留学の美名のもとに、私立野球学校と云われる強豪校がはびこっており、将来的には問題含みである。

さて、身近な例では、なによりオヤジの権威が

家庭崩壊となり、毎日のニュースの大半が殺人と火事が主力であり、明るいニュースは少ない。じゃ、どうすればいいか、わからない人間が巷にあふれている。そして、その日暮らしが出来ればいい方である。夢も希望等のない世相である。せめて日本人のよさ、戦後間もない頃のアノ勤勉と努力で国土復興に寄与したアノ時代をもう一度戻そうではないか。色あせない唯一の親しみ深い人間復活をして行こうじゃないか。

今日、この頃の私は、忘れものが多いのが問題だ。時計、眼鏡、紙袋、手帳等々。気をつけないと生命を忘れかねないので心配だ。

新東京タワーの見える街

(スカイツリー 30景) その③

専務理事 夏目 茂

広報7月号でスカイツリーをご紹介してから4ヶ月が経過しました。11月3日現在で497メートルに成長しました。すでに第一展望台部分は出来あがっており、先日、イルミネーションのテストも行われました。現在は、特別展望台(第二展望台)部分とアンテナとの境目あたりの工事が進んでいます。

350メートルの第一展望台にはレストランやカフェ、ショップなどが併設されるそうです。また展望台の4階には出発ロビー、5階には到着ロビーがそれぞれ設置される予定です。450メートルの特別展望台には空中回廊を設置して関東一円を見渡す広大な景色が楽しめるそうです。窓ガラスで覆われた空中回廊では、まるで空中を散歩しているような体験ができるそうですよ。

エレベーターは、地上から350メートルの高さにある第1展望台まで40人乗りが4台あり、約50秒間(分速600m)で到着します。第1展

展望台と450メートルの高さにある第2展望台を結ぶエレベーターは40人乗りで2台が用意されます。所要時間は約40秒間（分速240m）で到着するそうです。

その他に、地下駐車場から第2展望台まで一気に上がる（昇降距離464.4m）27人乗りの業務用エレベーターが2台あります。又、第1展望台内の移動用に1台、タワーの足元の施設に4台が用意されます。

隣接される施設として、地上31階建てのオフィス棟、中層の商業棟、広場、約1,100台分の駐車場なども建設される予定です。



写真 30景-9 (H22年11月7日撮影)

“ちょっと！ひと休み”

東京スカイツリーのすぐ下にある浅草通りには色んな物があります。おしなり君のお御輿（売物ではなくディスプレイ）やグッズ。お土産用に「おしなり君饅頭」も出来ました。あるお店の前ではスカイツリーのレプリカも飾られてありました。少し前までは、週末でもシャッターが締まっていたお店が多かったのですが、今では活気のある商店街と様変わりしつつあります。スカイツリー見学の際は、覗いてみてはいかがでしょうか。

写真 おしなり君のお御輿



写真

おしなり君のグッズ



写真

スカイツリーのレプリカ

第2展望台の付近とアンテナまでの境目の工事で、今後、しばらく時間が費やされそうです。ビジュアル的に変化してきましたら第4報でお知らせしたいと思います。

次の写真は今年の7月から9月までの成長記録です。



写真 30景-10 (平成22年7月10日撮影)



写真 30景-11 (平成22年8月1日撮影)



写真 30景-12 (平成22年9月25日撮影)

♪ことわざミニ知識♪

「角(つの)を矯(た)めて牛を殺す」
 少しの欠点を直そうとして、その手段が度を過ぎ、
 かって物事全体をだめにしてしまう。・・・広
 辞苑

「角を矯めて」とは角を矯正する事だから、角の
 曲がり方が気に入らなくて直そうと無理をしたの
 だろう。角の曲がりかどうかわからないが、
 結果として牛が死んでしまったのでは何にもなら
 ない。物事に取り掛かる時は、まず大局を押さえ
 方向性を間違わないようにした上で、それから細
 部にはいっていきべきと言う戒めである。

支部スケジュール

千代田支部

支部会 12月 6日(月) 菜の花
 忘年会 12月 6日(月) //

中央支部

支部会 12月10日(金) きくち
 支部会 1月14日(金) きくち
 支部会 2月18日(金) 大門酒家

文京支部

忘年会 12月 8日(水) 神楽坂・烏茶屋
 支部会 2月 8日(火) 池袋・地球飯店
 支部会 3月 8日(月) 大塚すし常本店

台東支部

支部会 11月27日(金) 場所未定
 忘年会 11月27日(金) 場所未定
 支部会 3月中旬 組合会議室
 忘年会 11月 *日にち・場所未定

荒川支部

忘年会 12月10日(金) 四丁目会館
 12月21日(火)～22日(水) 歳末夜警
 新年会 1月 5日(水) ねぎし・宮川

足立支部

忘年会 12月 4日(土) 北千住

山手支部

忘年会 12月18日(土) 鮎やなぎ

城南支部

忘年会 11月27日(土) 牡丹
 新年会旅行 2月5日(土)～6日(日)
 *群馬を予定

江墨支部

忘年会 12月20日(月) 吉野すし
 新年会 2月20日(木) //

城北支部

忘年会 12月 日にち、場所未定
 支部会 2月10日(木) 東明大飯店

◎第8回組合合同新年会

平成23年1月15日(土)

午後6時～

場所：上野・精養軒

◎直納部委員会及び忘年会

平成22年12月22日(水)

場所：伊豆栄「梅川亭」

午後5時～ 直納部委員会

午後5時30分～ 忘年会

お 知 息 せ

[12月会議・催事予定]

- 12月3日(金) 共販輸出検討委員会
(pm1:30～) 上野・東天紅
" 常任理事会 (pm2:00～)
理事会 (pm3:30～)
上野・東天紅
" 清風会講演会 (pm5:00～)
清風会忘年会 (pm6:00～)
上野・東天紅
- 12月5日(日) 第3回関東商組との親睦ゴルフ会
石岡ゴルフクラブ8組
32名を予定
- 12月22日(水) 直納部忘年会直納部会
(pm5:00～)
忘年会 (pm5:30～)
伊豆栄「梅川亭」
- 12月29日(水)～1月4日(火)
組合事務局・年末年始休暇

[古紙価格]

[東資協の古紙4品の標準売値]

平成22年10月8日現在

新聞 8～10円(横ばい)

雑誌 7～8円(横ばい)

段ボール 8～9円(横ばい)

[古紙品質調査事業] 平成22年10月～12月価格

[新聞古紙] 16,000円/トン

[段ボール古紙] 16,000円/トン

「本社移転」

①文京支部： 東日紙商(株)

新所在地 目黒区目黒1-17-17 4階

平成22年9月21日(火)より

電話 03-5435-1091

FAX 03-5435-2320

②足立支部： (株)増田商店

新所在地 葛飾区立石2-23-17

平成22年8月中旬より

・電話番号・FAXは変更なし

[訃報]

荒川支部：(株)久保田商店 代表者 久保田貞行様のご尊父 久保田 暢 様(享年90)が平成22年10月13日にご逝去されました。

会議概要 [9月・10月]

9月度定例理事会

[平成22年9月3日(金)] pm4:00

出席理事25名 於) 組合会議室

近藤理事長挨拶

2ヶ月ぶりの理事会となりますが、その間、大相撲の賭博問題、猛暑、色々な事故や事件がありま

した。9月14日には民主党の党首選挙があり早急に経済対策をすすめてもらいたいと思っております。当組合でも7月に製本工組との古紙関係協議会を行い、8月には返本加工協同組合の総会が開催され、今月は東資協との懇談会も開かれます。又、来月は静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会を東京（上野・精養軒）で開催します。色々と忙しい行事が続きますが、ご協力のほどよろしくお願い致します。

[各部報告]

[総務部] 平成22年7月20日に組合会館1階のテナント、サンプリント（株）の賃貸借更新の更新。賃借料は現状の262,500円で更新。

[直納部]

9月度の共販輸出検討委員会は2社による入札となりました。結果、（株）松本光春商店が先月より1円の下げで落札しました。輸出先は、中国で市況は、翌月に控える国慶節の影響もあり、各メーカーの買い姿勢がまちまちで契約のタイミングが非常に難しく相場が安定しないとの事。フィリピンでは、前月に引き続きパルプ価格の下落に伴い基本的に下げ傾向。それに加え、若干、在庫過多なため弱含み。

全般的な市況は、国内は洋紙メーカーが減産基調。段ボールと板紙関係は飲料向けが生産好調。

直納部主催の海外メーカー視察研修会を11月20日～23日（3泊4日）実施予定。行先は中国でアモイで2社の製紙工場を見学予定。

[品目別市況]

[家庭紙] 家庭紙に関しては、9月に入ってから古紙原料の価格修正はないのではないかとと思われる。現在、製品価格の修正も要素がまったくないと思われる。逆に製品の価格調整の要求がきているようである。7月はトイレトペーパーは在庫が少し減ってきているようである。ティッシュペーパーは製品在庫を持っているようである。メー

カーが生産を止めているので

古紙の在庫も残っており動いていかない状況。

[ダンボール] 飲料水関係は動きが良く板紙メーカーも良く動いている。輸出はバランスによって需要が変わるため現在は、国内が引き締まってきた。輸出価格も上がってきており製品在庫もはけてきている。円高が影響しているようである。
[新聞・雑誌] 市況はあまり良くない。発生が悪いのでメーカーからの古紙原料の引きが強く感じられてしまう。国慶節までは輸出しづらい状況が続いた。捺染紙によるクレームが多く上がってきている。

[台紙] 先月と同様、発生は落ちており価格は変わらない。

[オフィス古紙] 発生は少ない。8月後半は良くなってきた。シュレッター類がゴミとして処分されているケースが多いようである。

[集荷部]

発生が悪い。来月に入ると廃業する会社が多く出てくるようである。

[広報部]

広報誌の9月号の準備中である。時の視点は、国際古紙会議の報告、製本工組との古紙関係協議会、グリーン・プリンティングについて、清風会の研修会と納涼会、直納部納涼会、各支部ごとの納涼会を掲載する予定である。

[事業部]

来月あたりから来年の新年会についての内容を検討していきたい。

[青年部]

清風会のゴルフコンペについて協力をしていく。10月14日（木）のコンペの開催案内を配布。

[近代化推進事業委員会]

経営革新委員会：古紙商品化適格事業所の更新見送った事業所に対して看板の返却をお願いしていく。

IT委員会：9月9日にIT委員会を開催。
翌10日～12日に上海万博の研修会を行う。
需給委員会：国際古紙会議の報告について9月14日に最終確認の会議を行う。

古紙センター関東地区委員会

[平成22年9月22日(水)] pm2:00～

於)古紙センター会議室

[需要動向] 10/8月 単位トン、
()は対前年同月比、在庫の()は在庫率

[関東商組 32 社実績]

[新聞]	仕入	63,209 (91.5%)
	出荷	65,328 (90.6%)
	在庫	7,352 (11.3%)
[雑誌]	仕入	47,468 (93.2%)
	出荷	47,556 (91.9%)
	在庫	9,170 (19.3%)
[段ボール]	仕入	119,765 (95.6%)
	出荷	120,038 (94.2%)
	在庫	13,791 (11.5%)

[関東・静岡実績]

[新聞]	入荷	228,907 (96.7%)
	消費	231,405 (91.3%)
	在庫	169,545 (73.3%)
[雑誌]	入荷	114,647 (102.1%)
	消費	106,379 (91.0%)
	在庫	63,852 (60.0%)
[段ボール]	入荷	284,641 (109.2%)
	消費	270,089 (106.8%)
	在庫	113,394 (42.0%)

[業者側コメント]

[新聞・雑誌]

新聞の本文は、7月は前年に比べ、若干、良かつ

たが8月は大幅に減少している。チラシは7月、8月とも減少している。

雑誌は、全般的な傾向として、付録が多くなってきている。出版関係の売上は少ししか落ちていないが古紙の回収量は大きく落ちている。

[段ボール]

段ボールはメーカーの入荷は100%を越えている。古紙業者は回収後、すぐに販売の状況である。

[メーカー側コメント]

新聞は発生が良くない。入荷は一部未納のところが出ている。在庫は7月～8月は横ばいで在庫レベルでの問題はない。夏の中盤に売れ行きが悪くなり減産が急速に進みブレーキ感が出てきている。

段ボールの生産量は昨年対比で8月は猛暑の影響で104%、9月は105%。飲料関係は良かったが他は良くなかった。8月は、入荷は順調で在庫も計画どおりである。9月は各社減産。入荷も計画通りで適正在庫である。

古紙センター業務委員会

[平成22年9月29日(水)] pm2:00～

於)古紙センター会議室

- [1] 平成22年10月～22年3月の段ボール・新聞・雑誌の消費計画について(最終ページ参照)
 - [2] 集団回収実施団体への感謝状交付について(3地区委員会推薦11団体)
 - [3] 昇華転写紙(捺染紙)に関する(社)日本雑誌協会への対応について
 - [4] 古紙の需要・市況動向について
- ページ数の関係で割愛させていただきます。

全原連 平成 22 年度 第 4 回役員会

[平成 22 年 9 月 29 日 (水)] pm3:15 ~

於) 古紙センター会議室

理事・監事 64 名：出席 64 名

(内、委任出席 32 名) 欠席 0 名

(1) 古紙再生促進センター 関係

●業務委員会 (9 月 29 日開催)

◎平成 22 年 10 月～23 年 3 月の段ボール・

新聞・雑誌の消費計画について

段ボール：

7 月～9 月実績・見直計画

1,849,050t (前年比 106.0%)

4 月～9 月実績・見直計画

3,760,161t (前年比 107.5%)

10 月～12 月見直計画

1,916,584t (前年比 102.2%)

1 月～3 月計画

1,722,523t (前年比 102.3%)

10 月～3 月見直計画・計画

3,639,107t (前年比 102.2%)

新聞：

7 月～9 月実績・見直計画

998,023t (前年比 97.5%)

4 月～9 月実績・見直計画

2,009,849t (前年比 97.9%)

10 月～12 月見直計画

984,563t (前年比 93.0%)

1 月～3 月計画

964,310t (前年比 95.9%)

10 月～3 月見直計画・計画

1,948,873t (前年比 94.4%)

雑誌：

7 月～9 月実績・見直計画

567,750t (前年比 96.1%)

4 月～9 月実績・見直計画

1,163,865t (前年比 98.7%)

10 月～12 月見直計画

574,693t (前年比 95.4%)

1 月～3 月計画

540,993t (前年比 100.2%)

10 月～3 月見直計画・計画

1,115,686t (前年比 97.7%)

◎昇華転写紙 (捺染紙) に関する (社) 日本雑誌協会への対応について

* 9 月 8 日に (社) 日本雑誌協会を訪問し、昇華転写紙が混入することによるトラブルの内容等を説明し理解を求め、適正処理及び情報提供を依頼し、9 月 17 日に雑誌への昇華転写紙の販促用の利用はすべて止めてほしい旨申し入れました。

* 雑誌協会側からは、雑誌による被害発生防止に努めるとの回答を得ておりますが

①少年ジャンプに入っているアイロンプリント紙程度で本当に影響が出るのか検証してほしい

②製紙メーカー側での技術的な対応の可能性について教えてほしい

以上 2 点についてセンターとして文書で回答すべく準備を進めている。

* 関東地区委員会の製紙メーカー委員の協力のもと、各工場での昇華転写紙による被害状況等について調査する (調査対象期間：平成 20 年 8 月～22 年 8 月、2 年間)

◎集団回収実施団体への感謝状交付 (3 地区委員会推薦 11 団体) について

・推薦地区委員会：中部地区委員会 (5 団体)・近畿地区委員会 (1 団体)・中四国地区委員会 (5 団体)

◎紙リサイクルセミナー開催について

・開催日時：平成 22 年 9 月 30 日 (木) 13:30～15:55

開催場所：東京商工会議所国際会議

◎今後の日程について

平成22年10月25日(月)13:30～14:30

第6回業務委員会(センター会議室)

平成22年11月25日(月)13:30～14:30

第7回業務委員会(センター会議室)

(2) 経済産業省 関係

◎古紙利用率設定に関する意見交換について

(9月24日開催)

*2015年・2020年古紙利用率目標:63%(平成23年3月まで62%)とする

(3) 全原連 関係

①雑誌綴じ込み昇華転写紙(捺染紙)問題への対応について

*古紙再生促進センターで(社)日本雑誌協会に申し入れ、対応をお願いした

*全原連の対応は、この問題について古紙再生促進センターを窓口に一本化する

②自治体における高値入札に関する公取委の見解と今後の対応について

*高値入札は地域ごとで違うため、各単組で慎重に検討する

*入札問題は古紙業界として慎重に対応すべきであり、正副理事長会・総合運営委員会で検討する

③日資連による持ち去り古紙流通阻止運動への対応について

*日資連の要望事項「持ち去り古紙流通阻止運動に賛同の意思表示お願い」について全原連として10月5日(火)16:00～日資連より説明を伺い、賛同するか決定する(全原連理事会では賛同承認)

④国際古紙会議準備委員会の設立について

*需給委員会の要請:日本主催国として国際古紙会議を開催したい旨あり、準備委員会(検討委員会)を設立することを承認

(4) 各委員会報告

●経営革新委員会・渉外広報委員会合同会議
(9月21日開催)

*業界の経営基盤強化を目的とした「優良性評価事業」(古紙商品化適格事業所・古紙リサイクルアドバイザー)広報宣伝について広報の内容等原案を作成し、委員会へ上程(11月理事会承認予定)

●需給委員会(9月14日開催)

・海外視察調査:第13回世界古紙会議
(4月28日～29日)参加(ドイツ/デュッセルドルフ)報告書作成(9月理事会配布)
・古紙輸出統計(8月度実績)

段ボール:	167,190t	(前年比 79.1%)
累計	1,495,562t	(前年比 88.9%)
上物:	7,699t	(前年比 89.3%)
累計	70,990t	(前年比 75.3%)
新聞:	27,774t	(前年比 73.1%)
累計	305,094t	(前年比 65.7%)
雑誌:	75,087t	(前年比 99.0%)
累計	737,089t	(前年比 89.6%)
その他:	40,769t	(前年比 88.4%)
累計	405,119t	(前年比 96.2%)
合計:	318,519t	(前年比 83.9%)
累計	3,013,854t	(前年比 86.5%)

●IT推進委員会(9月9日開催)

・東芝情報機器(株)情報交換会
(DM関係等報告)
・研修会:9月10日(金)～12日(日)
上海万博

10月度定例理事会

[平成22年10月4日(月)] pm4:00
出席理事24名 於)組合会議室

近藤理事長挨拶

尖閣諸島問題や円高により経済面での影響や問題が大きくなりつつあります。我々の業界においても10月より家庭紙原料の価格修正について変化があるのではないかと予想をしておりましたが、今のところ変化はありません。今月は、上野・精養軒で静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会を開催しますので多数の方がご参加くださるようご協力のほどよろしくお願い致します。

[各部報告]**[直納部]**

10月度の共販輸出検討委員会は3社による入札となりました。結果、(株)松本光春商店が先月より1円の上げで落札しました。輸出先は、中国で市況は、10月は国慶節により上旬の動きが鈍く相場は安定している様子で例年同様中旬より動きがあるのではないかと予想している。

今年の海外工場視察研修は中国のアモイに3泊4日で予定している。工場見学には東方物産(株)の廠社長が同行する。

全般的な市況は、秋以降は国内は洋紙メーカーが操短。板紙は夏の飲料水需要で良かった。段ボール古紙は一部に高値が出ている。メーカーにより購入意欲がマチマチである。家庭紙は減産続行中である。メーカー側の価格面での変化はないが原料価格だけが一部動いているようである。

[品目別市況]

[家庭紙] 家庭紙古紙の発生は良くない。オフィス産業古紙を含め8～10%減少している。10月は古紙原料にタイト感が出てくる。製品価格の値上げは決まっていない。9月に家庭紙古紙の値上げはなかった。現在のところ古紙価格に変化はなく期待しにくいムードは良くなってきている。

[ダンボール・新聞・雑誌] 前月と変化なし。

[台紙] 先月と同様、変わらない。

[オフィス古紙] 発生がすごく落ちている。予定よりも入荷が少なく、発生は20～30%減少している。

[集荷部]

発生がさらに悪くなっており1日数時間しか仕事がない日が多い。業界誌の価格についての記事が読む人に誤解を与える事がある。

[広報部]

広報誌の9月号がお手元に届いたと思います。今、11月号について準備中であります。時の視点は、直納部の正副部長の市況他についての記事を掲載予定。支部便りは前回に掲載できなかった支部の納涼会を掲載する。又、新たに組合の事業と関わりの深い関連会社の紹介記事を11月より順次掲載する。第1回目は納土社会保険労務士事務所が掲載されます。

[青年部]

印刷産業青年連絡協議会についての説明。11団体が勉強、研修をしている団体で青年部として正式に加入するかどうか検討する。本日の理事会終了後に青年部会を組合会議室で行う。

[近代化推進事業委員会]

需給委員会：需給のギャップについてデータの洗い直しをしていく。

直納部委員会

[平成22年10月15日(金)] pm3:30～
出席委員19名 於) 組合会議室

[市況全般について]

発生は非常に悪い。本来、家庭紙原料は産業古紙が多かったが、今ではオフィスミックスが主体となってきており、全体の7～8割となっている。オフィスミックスは雑誌として輸出に廻される事も多いので価格面でも左右される事が多い。

[家庭紙]

10月中旬に入り家庭紙原料の価格修正について

前向きな話が出てきている。輸出は、高値で輸出されていたが、ここにきて下げ基調に入ってきた。19日の会議では現在の発生状況、在庫状況を説明していく。洋紙メーカーの減産基調がこのまま続くと、古紙の発生状況もタイト感がしばらく続くのではないと思われる。

[各社の動向]

発生が全体に悪い。在庫はランニングストック状態。

「家庭紙部会に向けて」

- ①発生の少なさを強調する。景気の悪さの影響も伝え、今後も発生は増えていく要素がない事を知らせる。
- ②在庫がない状況を強調。原料の納入は何とかしていく意向を示すが、厳しい状況である事も伝える。

集直合同委員会

[平成22年10月15日(金)] pm4:30～
出席委員23名 於) 組合会議室

[直納部の現状]

家庭紙原料の発生は、8月、9月と低調に推移している。10月に入り瞬間的に良くなる気配があったが、すぐに戻ってしまった。問屋の在庫はランニングストック状態である。発生が悪さをカバーするため出荷を少し減らし対応している状況である。製本、印刷業界も景気が悪く12月に向けても発生を期待できる要素が見当たらない。

[集荷部の現状]

集荷状況は発生が激減している。このままの状況続いていくと原料価格が上昇しない限り仕事をやっていけなくなってしまう。例年は3月、10月は発生が多い時期だが10月に入っても状況は良くならない。前年対比で良くなる傾向が見えないので、どこまで落ちるのか不気味な気がする。印刷、製本業界の不況が大きく影響している。

[家庭紙メーカーの現状]

家庭紙メーカーの古紙在庫は少なくなってきた。大手、準大手の家庭紙メーカーは、ある程度は持っているが中小のメーカーはほとんどない状況である。製品価格の値上げは実施できなかった。

[家庭紙部会に向けての対策]

- ①発生を少なさを強調する。
- ②原料の納入はある程度確保するが、発生が激減しているため価格面での上昇があっても必ず納入が出来るとは限らない事を伝える。
- ③集荷の厳しい現状を話し、今後も良くならない状況を伝える。

古紙センター関東地区委員会

[平成22年10月19日(火)] am10:30～
於) 古紙センター会議室

[需要動向] 10/9月 単位トン、

() は対前年同月比、在庫の() は在庫率

[関東商組 32 社実績]

[新聞]	仕入	67,951 (94.0%)
	出荷	68,426 (95.9%)
	在庫	6,877 (10.1%)
[雑誌]	仕入	47,378 (83.9%)
	出荷	48,246 (87.9%)
	在庫	8,302 (17.2%)
[段ボール]	仕入	121,007 (92.4%)
	出荷	122,319 (95.1%)
	在庫	12,479 (10.2%)

[関東・静岡実績]

[新聞]	入荷	214,934 (91.3%)
	消費	218,362 (98.3%)
	在庫	166,117 (76.1%)
[雑誌]	入荷	111,661 (98.2%)
	消費	115,281 (94.4%)
	在庫	60,232 (52.2%)

[段ボール] 入荷	286,363 (103.3%)
消費	286,547 (103.1%)
在庫	113,210 (39.5%)

[業者側コメント] 及び [メーカー側コメント]
は省略

古紙センター業務委員会

[平成22年9月29日(水)] pm2:00～

於) 古紙センター会議室

- [1] センター事業仕分けのための組織とスケジュールについて
 - [2] 昇華転写紙(捺染紙)に関する(社)日本雑誌協会への対応について
 - [3] 地区委員会代表・地区事務局員合同会議の開催について
 - [4] 古紙の需要・市況動向について
- ページ数の関係で割愛させていただきます。

全原連平成22年度第5回役員会

[平成22年10月25日(月)] pm2:45～

於) 古紙センター会議室

理事・監事64名:出席64名(内、委任出席37名)欠席0名

(1) 古紙再生促進センター 関係

●業務委員会(10月25日開催)

◎センター事業仕分けのための組織とスケジュールについて

- ・事業見直しを行う委員会として検討チームを組織する。
- ・事業見直し検討チームのメンバーは7名程度で構成し、既存の財務委員会及び事業計画専門委員会の両委員長と両委員会委員の内より願います。
- ・スケジュール

- ① 11月15日頃までに事務局案の取り纏め
- ② 11月20日前後に検討チームを開催して検討
- ③ 11月25日の常任理事会で経過報告と方針の承認
- ④ 12月初旬に財務・事業計画専門委員会の合同会議で細部の検討
- ⑤ 23年1月の常任理事会、業務委員会で承認

◎昇華転写紙(捺染紙)に関する(社)日本雑誌協会への対応について

- ・製紙メーカーの各工場での昇華転写紙による被害状況等について調査結果及び意見収集等を文書にて11月4日(社)日本雑誌協会へ提出する。

◎地区委員会代表・地区事務局員合同会議の開催について

- ・事業仕分けの見直し及び各地区の新規事業の要望等を検討する。

◎今後の日程

平成22年11月25日(木)13:30～14:30
業務委員会(センター会議室)

平成22年12月休会

(2) 経済産業省 関係

①第1回古紙市場安定化調査委員会 (10月21日開催)

・事業の目的:
古紙市場を不安定化させる要因(中期的なものと突発的なもの)を抽出・分析し、古紙市場安定化に向けた方策を検討する。

・事業のスケジュール(国家予算の関係上、下記のスケジュール):

検討委員会開催(10月21日、12月上旬、1月上旬)
アンケート調査、ヒアリング調査、文献調査実施(10月下旬～11月下旬)

アンケート調査結果分析・集計(11月上旬～12月上旬)

報告書の作成（12下旬～1月21日）、終了日1月21日

- ・事務局窓口：矢野経済研究所

(3) 全原連 関係

◎審議事項（役員会上程、承認事項）

①「古紙商品化適格事業所」・「古紙リサイクルアドバイザー」申請認定について

- ・古紙商品化適格事業所：10月15日（1社、1事業所）累計（413社825事業所）

- ・リサイクルアドバイザー：10月15日（2社、2名）累計（438社、2,043名）

②良性評価事業に関する自治体向け広報文の取り纏めについて

- ・業界として集直（回収業者等）に対し、配慮した広報文を再度作成する。

③持ち去り古紙流通阻止運動に関する日資連との意見交換会について

- ・（理事会承認事項）事務手続きとして、全原連事務局より各単組理事長あてに通達し、各単組組合員へ要請後、承認を確認した上、日資連より賛同書を発送します。

(4) 各委員会報告

●経営革新委員会・渉外広報委員会合同委員会（9月21日開催）

①優良性評価事業に関する広報について

- ・リーフレットの作成を検討（渉外広報委員会：11月末初校）

②古紙リサイクルアドバイザー用サブテキストについて

- ・ページ数：約40ページ、単価：1冊500円、作成部数：3,000部

③「日本古紙品質認定（J-BRAND）制度」の進捗状況について

- ・関東地区委員会にて検討中、テストは来年1～3月に実施

④「防火月間」ポスター（11月防火月間）配

布について

●需給委員会（理事会承認事項）

- ・国際古紙会議（日本主催）準備委員会設立に伴い委員の人選を今後検討する。

編集後記

広報部副部長 脇 克美

「暑さ寒さも彼岸まで」とはよくいったもので、今年はまさに秋分の日を境にあの酷暑は消え去り、気温も10℃は下がったのではないのでしょうか。そうはいつでも10月には昼暑い日もあり、半袖、長袖今日は何を着るかしばらくの間思い悩んでしまいました。

そのまだ残暑が厳しかった9月のはじめ、私は生まれて初めて生の落語を聞いてきました。「寄席」ではなく新宿のホールでの小朝と歌丸の2人会でしたが、前の方の席で、たっぷりの時間聞かせてもらい、大笑いをしてきました。テレビでしか落語を聞いたことのない私には、舞台から直接聞く「はなし」はさすがのベテランの味わいで、引き込み、そらさず、くすぐりを入れながらあっという間に2時間以上が過ぎていました。久しぶりに満ち足りた気持ちで家に帰ってくる事が出来ました。組合本部の近くに「鈴木」があるようにいろいろと定席あるのだから、これを機会に「寄席」にもたまに立ち寄ってみようかと思っています。

ところで、これが今年最後の広報です。年明け早々の1月15日（土）上野「精養軒」において合同新年会が開催されます。皆様こそでご参加いただきますようお願いいたします。良い年をお迎えください。